



Action-みんなの思い出のバジ

朝や放課後の教室が活気うってました。全学年も合唱の練習に熱が入ってきました。総合の時間も発表会に向けた準備がすすんでいきました。お取組も序盤といったところで、シヨラ先は「あー今日は何かトラブったかなあ...」「周りの様子とかわかってるなあ...」「我慢して...」などなど感じる日が増えていくかもしれません。

腹ぺたたら怒れずいい。悔しかったら泣いていい。それで喜ばれたら腹の底から笑えいい。そんな関わりを持つ集団は強いのです。ふつわれは痛い。ふつわれは苦しい。ふつわれは悲しい。

しかし、そんな困難から逃げていても、自分も、集団も成長しません。今の学年で行える菊心祭は、人生で一度きりです。来年は頑張る！、という人は、きっと来年も同じことを言うでしょう。やるなら「今」です。やるのは「今」です。

生徒会執行部が今年の菊心祭のスローガンを示してくれました。この菊心祭が生徒全員の最高の思い出となるように、そしてこの取組が次の自分、次の集団へのステップアップにつながるように、がんばってほしいです。

学習の土台は 生活の中にある!!



テストが近くなると、子供たちは必然と勉強時間を確保しようとする。そして、この期に及んで口にする言葉は決まって「時間が足りない!!」です。しかし机に向かう時間が長くなったら成績があがる...とは限らないからです。結局のところ、大事なのは「集中力」なのではないでしょうか。集中できる人は、長時間机に向かう必要はないということです。

また、そんな人ほど時間の使い方が上手です。時間の使い方が上手な人とは、例えれば「ぼんやりしている」「すぐに時計を見る」「指示を聞かない」「忘れ物が多い」などが

考えられず、要は「集中力がない」といって行ってしまう。では学力を身につけるためには具体的に何を大切にすべきか……。

私に思うに、「学校や家庭における生活習慣こそが学習の土台である」といって答えても、

家庭であれば、テレビやゲーム、スマホの時間を守れない!という子供の責任と守らせることのできない親の責任です。学校であれば、掃除の時間をいばいえない!という子供の責任と、させきれない我々教師の責任です。ごくごく初歩的の段階で、自立できていない状態で。

子供たちは、家でどのようにして過ごしているのか? 「勉強」と理由に甘やかす必要はありません。むしろ、テスト前こそ家の手伝いをさせるべきです。家で家族のために決まった役割を果たすべきです。風呂掃除、食器洗い、洗たく物など、そんな時間を使える子供ほど時間を大切にします。テストだから...と免除する必要はないと思います。

菊心祭の準備がすすんでいます!!

今年は花がまだ咲いていません...しかし春の終わりに、花は満開になっていると思います。ふるさと創生広場で11月16日まで開催していますので、ぜひ時間を見つけて見学に行ってみてください!!



=前期学校評価より=60運動の取組における課題

(肯定回答50%未満)

▼「寝る60分前には保護者にスマホを預ける」

▼「スマホやゲームは60分まで」